

民主党「つくばエクスプレス議員連盟」

会長 松崎 公昭 様

つくばエクスプレス東京駅延伸に 係る調査費の計上の要望について

つくば市

つくばみらい市

守谷市

流山市

柏市

平素より、つくばエクスプレス東京駅延伸につきましては、格段の御尽力をいただき厚くお礼申し上げます。

つくばエクスプレスの利用客数は当初計画を大きく上回り、平成22年度の年間乗車人員は1億人を超え、沿線のまちづくりも着実に進捗しているところです。

また、昨年度は、議員連盟の意見交換会を開催していただき、前向きな対応をしていくという力強いお言葉で締めくくっていただきましたこと誠にありがとうございました。

沿線自治体にとって、活動する上での勇気をいただいたところです。

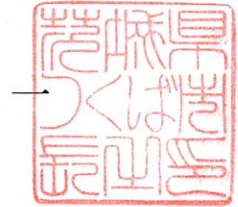
沿線自治体にとりましても鉄道経営の安定化は第一義ですが、同時に利用客に対する利便性、快適性の向上、さらに沿線整備促進のためには、運輸政策審議会の答申のとおり、東京駅延伸は早期実現すべき重要課題であると考えております。

また、成田・羽田両空港間アクセスの短絡線（新東京駅）整備は、工事の効率性や整備費用の面から切り離すことの出来ない事業となっており、当該路線との結節は利便性向上にも繋がることから、短絡線と同時に調査を進め、事業化を目指すべきものと認識しております。

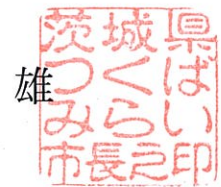
このことから、「輸送需要などの事業性の検討」や「事業費、収支・資金計画の検討」など、事業効果に関する客観的調査の実施について、国土交通省鉄道局都市鉄道課へ調査費を計上するよう働きかけていただきますよう宜しくお願いいたします。

平成23年12月12日

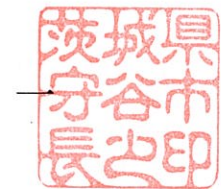
つくば市長 市原 健



つくばみらい市長 片庭 正



守谷市長 会田 真



流山市長 井崎 義



柏市長 秋山 浩

